

瑞沢 Pecha Kucha Table times vol.1

—みずさわ ペチャクチャ テーブル タイムス 1号—



瑞沢の今とこれから

お茶をしながら、瑞沢に暮らす人たち同士でまちのこれからを話す瑞沢 Pecha Kucha Table（みずさわペチャクチャテーブル）。キックオフとなる1回目が1月28日瑞沢小学校多目的ホールで開催されました。この日のテーマは「まちの魅力と課題を知る」。テーブルタイムスでは各回の話し合いの様子をお伝えします。

【日時】

1月28日（土）13:00～15:30

【場所】

瑞沢小学校多目的ホール

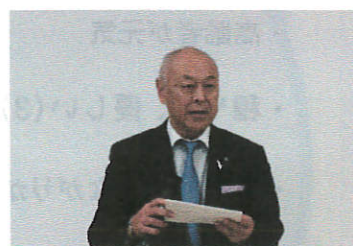
【参加人数】

23人

【プログラム】

- ・はじめに
- ・町長あいさつ
- ・ペチャクチャテーブルについて
- ・睦沢町・瑞沢を取り巻く 社会の現状
- ・ヒアリング共有
- ・ペチャクチャテーブル
「まちのいいねとモヤモヤ」

町長あいさつ



「地域の再生・活性化には行政や関係団体だけでなく、住民のかたとの連携が必要であると考えています。今回をきっかけにまちの今後について話し合い、方向性を見出し、これからの地域づくりにつなげていければと思います」

全体の流れ

知

まちの資源、課題を知る

考

5年後、10年後の暮らしを考える

創

やりたいこと、出来ることを考える

ペチャクチャテーブルは、今年度3回の話し合いを行い、瑞沢地区の今後の地域づくりの方向性と、目指したい将来像にむけて必要な取り組みを考えていきます。

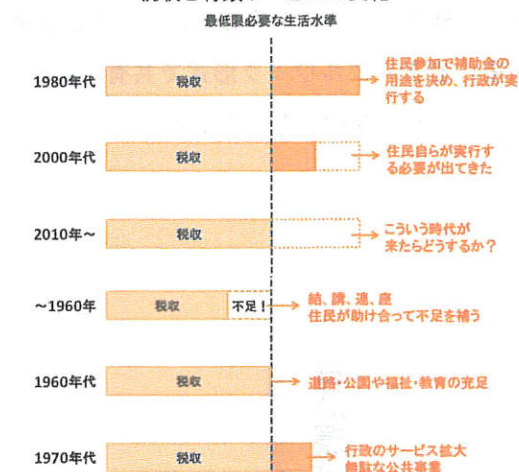
睦沢町・瑞沢を取り巻く 社会の現状

話し合いの前のインプットとして、まちを取り巻く7つの社会の現状が紹介されました。

それぞれ、

- 1、日本全体で人口が減少していること
- 2、税収と行政サービスが変化していること
- 3、地域づくりは営利・非営利、両方が必要
- 4、これからは定住人口、交流人口のほかに活動人口を増やしていくことが重要なこと
- 5、人生は90年楽しむ時代に突入したこと
- 6、地域の未来は住んでいる人が考える
- 7、まちを良くする取組みが全国で始まっている

税収と行政サービスの変化



ヒアリング共有「瑞沢のここがいいところ、不安なところ」

本プロジェクトの事前調査として、瑞沢地区に住む方に事前に聞き取り調査を行いました。その結果を瑞沢の良い点・不安な点に分類し、共有しました。以下は共有した結果の一部です。

いいこと

- U・Iターン者が瑞沢に魅力を感じていること
- 高齢者が元気に暮らしている
- 車があれば不自由しない
- 都市に行くのにも遠すぎず便利
- 農村の美しい風景・自然の維持
- 瑞沢の魅力を生かした仕事
- 子どもと地域の人が関われる機会が多い
- 体験学習が充実している
- ご近所のつながりがあり、治安が良い
- 昔からの手仕事・文化が残っている
- お神輿の再開
- 春夏秋冬の見どころ行事
- お米が美味しい

不安なこと

- どんな人が移住して来るか不安
- 子ども、子育て世代が少ない
- 車が運転できなくなった時の事が心配
- 公共交通機関（バス）が少ない
- 農地の活用
- まちなかに仕事がない
- 学校が担っていた地域とのつながり
- 塾や習い事の選択肢が少ない
- 若い人が地域の活動に参加しにくい
- 世代間のつながりが少ない
- 地域の役割で週末が忙しい
- 予算や担い手の維持
- 地域の目玉となるものがない

ヒアリングでの「？」

- 1・Uターン者には何が魅力なんだろう？
- 転出していった人は何が理由だったんだろう？
- 瑞沢における活性化って？
- みんなで話をしたいなあ

ヒアリングからの気づき

- 地域への愛着が強い人が多い
- 今の暮らしへの満足感と維持への不安
- 瑞沢らしさを生かした地域づくり
- 地区を超えてのつながり、取り組み
- 伝統文化や地域の習慣、手仕事が残っている

ペチャクチャタイム「まちのいいねとモヤモヤ」

まちを知るインプットのあとは、参加者自身が感じているまちのいいね（魅力・資源）とモヤモヤ（課題・不安）をテーブルワーク形式で共有、最後にテーブルごとに発表しました。下図は各テーブルの意見を取りまとめ、整理したものです。

各テーブルの発表から

共通していた意見として、自然環境や人の良さが瑞沢の暮らしの魅力につながっていることがわかりました。一方で、今後高齢者が増えていく中で、今後も今の暮らしを続けたいという意見が多く挙がりました。

